

特集① スマート福井実現を目指して



専用装置を使い自動車の走行データを収集



自動走行トラクタ



作業員のタブレット入力の様子((株)アルケー)



マイナンバーカード申請イメージ

DXで私たちの暮らしが変わる！

最近話題の「DX(デジタルトランスフォーメーション)」。デジタル技術を活用して利便性や生産性を高め、県民の皆さまの暮らしや仕事をよりよく変えていこうというものです。

県では令和3年3月に「福井県DX推進プログラム」を策定。4月には福井県DX推進本部を設置し、全庁を挙げて生活、産業、行政の各分野におけるDX推進に取り組んでいます。

生活のDXとは、交通や福祉など生活分野の質の向上を目指すことです。例えば、民間保険会社が持つシステムを活用し、県警の協力も得ながら、DXを使った新たな交通安全対策を行います。自動車に専用装置を設置して、ブレーキやハンドル操作などの走行データを収集。安全運転のスコアなどを運転者のスマートフォンへ送信し、安全運転への意識向上につなげ

ます。また、各運転者の走行データを県が収集・分析。危険エリアを把握し、事故の未然防止にもつなげます。このほか、新型コロナウイルス接種予約の空き状況をリアルタイムで公開しています。

産業のDXとは、ものづくりや農林水産など県内産業の高付加価値化を目指すことです。県では令和3年6月に県内中小企業のDX推進をサポートする「ふくいDXオープンラボ」を開設。企業の取り組み事例の紹介や、専門家の派遣などを行っています。

チタンの加工を手掛ける(株)アルケー(福井市)は、県の支援を受けDX推進に取り組んでいます。加工現場では12名の従業員が勤務。作業進捗などについて、以前は手書きの日報を基に事務員が手入力してまとめていたやり方を、作業員が現場

DXを推進していきます。

行政のDXとは、行政手続における電子申請の拡充などを推進していくことです。例えば、マイナンバーカードの普及のため、申請手続や顔写真撮影が1台で短時間に行える専用タブレット端末を全国に先駆けて県内全市町に配備しました。

また、県庁内でもRPA※により

る事務の効率化を図るなど、個々の職員レベルでの取り組みが進んでいます。

県では県民の皆さまの暮らしや仕事をより豊かで魅力的なものへ変革するため、DX推進に取り組んでいます。

※人間がコンピュータ上で実行している定型作業をロボットで自動化すること。

◎未来戦略課
TEL:0776-2010225
FAX:0776-2010623

福井県のDX推進の取り組み

県のDXの取り組みや県が関わる県内DXの事例などを、ホームページで紹介しています。



ふくいDXオープンラボ



専門家が、DXのビジネス活用や導入に関して相談を受けるほか、IoT・AIなどの技術に関する勉強会・研究会を開催しています。

坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
福井県産業情報センタービル1F
TEL:0776-67-7404



AIが婚活をお手伝い



ふくい婚活サポートセンター(ふく恋)では、AIによるマッチングシステムを運用しています。希望条件や価値観診断(EQアセスメント)の結果を踏まえAIがおすすめる相手を紹介いたします。

知事メッセージ みなさんと一緒に

DXで暮らしの質を高めます。

県が今年度より推進するDX。単なるデジタルへの置き換えではなく、新しい産業や価値を創造していくことが重要です。

県民の皆さまの暮らしの質を一層高める「スマート福井」の実現を目指していきます！



知事 杉本 達治

